

科目名	コーポレートファイナンス	単位数	2単位	学期	後期
担当教員	鈴木 広樹		実務経験の有無		○
科目区分	カリキュラムマップを表示する	関連するディプロマポリシー			
ナンバリング	X-32-B-3-460010	経営情報学部C：情報や情報システムの利活用方法を習得し、仕事や生活に活用できること			
授業の目的	コーポレートファイナンスの基本的な考え方を理解したうえで、企業価値を評価できるようになることを目的とする。なお、コーポレートファイナンスを理解するに当たっては一定の数学的素養が求められるが、数学が苦手な者も理解できる内容とするよう努める。				
学修到達目標	企業価値を評価することができる。				
実務経験との関連性	証券会社において、株価算定を含む企業審査業務に従事。				

授業計画	
第1回	オリエンテーション（講義の進め方について、企業の数字の確認）
第2回	コーポレートファイナンスとは（資本利益率、資本コスト）
第3回	リスクとリターン（リスクフリーレート、リスクプレミアム）

第4回	資本コスト1 (負債コスト、株主資本コスト、CAPM)
第5回	資本コスト2 (WACC)
第6回	資本コスト3 (負債の節税効果、負債と β)
第7回	投資判断1 (DCF法、NPV法)
第8回	投資判断2 (IRR法)
第9回	企業価値評価1 (インカム・アプローチ、配当還元法)
第10回	企業価値評価2 (収益還元法)
第11回	企業価値評価3 (DCF法による企業価値評価)
第12回	企業価値評価4 (非事業資産、 β の変換)
第13回	企業価値評価5 (コスト・アプローチとマーケット・アプローチによる企業価値評価)

第14回	資本コストと投資判断の復習
第15回	企業価値評価の復習
第16回	定期試験

授業時間外の学習	
【予習】時間・内容	2時間。前週配布資料の予習
【復習】時間・内容	2時間。資料の不明点を理解し、問題を正確に解答できるようにする。

成績評価	
評価基準・方法	定期試験90%、小テスト10%の割合により評価する。
フィードバック方法	随時行う小テストにおいて誤りがあった箇所について、解説を行う。

アクティブラーニング	
実施の有無	×
実施内容	

教科書/参考書	配布資料
受講上の留意点等	
JABEE	